

第4回2022年の『ユリシーズ』—スティーヴンズの読書会 @浅草Kappabashi Coffee 2019/10/20 13:00~

第3挿話 Proteus

@サンディマウント 海岸1904/6/16 10:00~



- ❖ Hans Walter Gabeler 版 *Ulysses*: 略称Uに続けて挿話番号+行数番号
- ❖ 鼎訳 (丸谷才一・永川玲二・高松雄一 集英社訳): 略称U-Δに続けて挿話番号+ページ数
- ❖ 柳瀬尚樹訳: 略称U-Yに続けて挿話番号+ページ数

第4回読書会

受付開始 13:15~13:30

第1部 13:30~15:00

休憩 15:00-15:15

第2部 15:15~16:55

懇親会 17:10~19:10

* 店内は電子タバコを含め全面禁煙です。

* 会場内での写真撮影についてのお願い



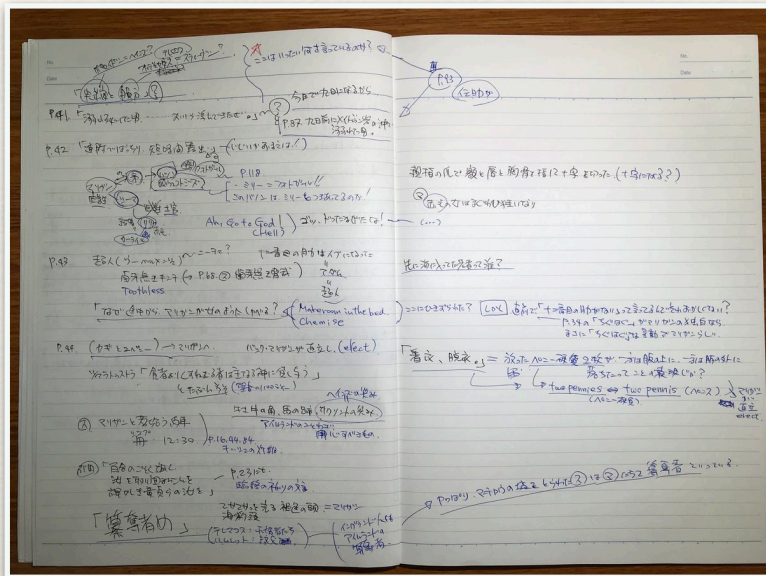
配布資料

1. 第4回記念ポストカード
2. 領収書兼名札（*二つ折りにしてカードホルダーに入れてください）
3. オレンジ色のカードホルダー（*お帰りの際にご返却下さい）
4. 第2挿話の言葉の地図（表）とダブリン湾の海岸地図（裏）
5. 第3話のあらすじとデダラス家の家系図
6. 南谷奉良「終わらない文ーヒュー・ケナー『ジョイスの声』試訳、注解、試論」
7. アンケート（*読書会終了後、受付にご提出下さい）

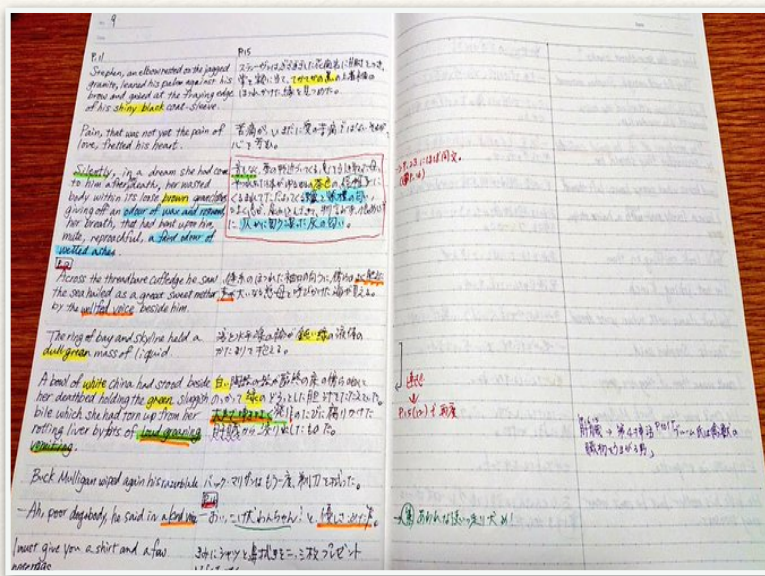
『2022年のユリシーズ』 読書会予定表

第1回 2019年6月16日	第4挿話 カリュプソー	Book II. Odyssey	initial style
第2回 2019年8月25日	第1挿話 テレマコス	Book I. Telemachia	initial style
第3回 2019年10月20日	第2挿話 ネストール	Book I. Telemachia	initial style
第4回 2019年12月22日	第3挿話 プロテウス	Book I. Telemachia	initial style
第5回 2020年2月9日	第5挿話 食蓮人たち	Book II. Odyssey	initial style
第6回 2019年4月26日	第6挿話 ハデス	Book II. Odyssey	initial style
第7回 2020年6月28日	第7挿話 アイオロス	Book II. Odyssey	
第8回 2020年8月	第8挿話 ライストリュゴネス族	Book II. Odyssey	
第9回 2020年10月	第9挿話 スキュレとカリュブデイス	Book II. Odyssey	
第10回 2020年12月	第10挿話 さまよう岩々	Book II. Odyssey	
第11回 2021年2月	第11挿話 セイレーン	Book II. Odyssey	
第12回 2021年4月	第12挿話 キュクロプス	Book II. Odyssey	
第13回 2021年6月	第13挿話 ナウシカア	Book II. Odyssey	
第14回 2021年8月	第14挿話 太陽神の牛	Book II. Odyssey	
第15回 2021年10月	第15挿話 キルケ	Book II. Odyssey	
第16回 2021年12月	第16挿話 エウマイオス	Book III. Nostos	
第17回 2022年2月	第17挿話 イタケ	Book III. Nostos	
第18回 2022年4月	第18挿話 ペネロペイア	Book III. Nostos	
第19回 2022年6月16日	記念イベント？		

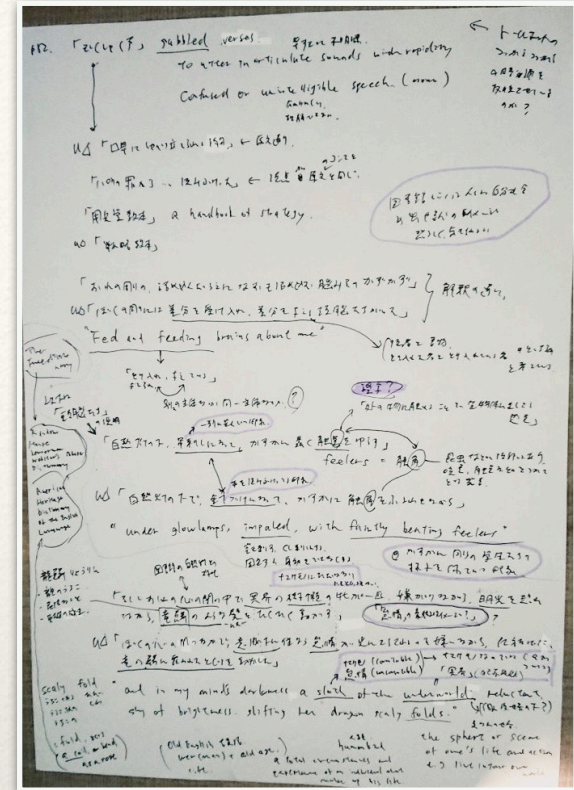
『ユリシーズ』とノートテイキング



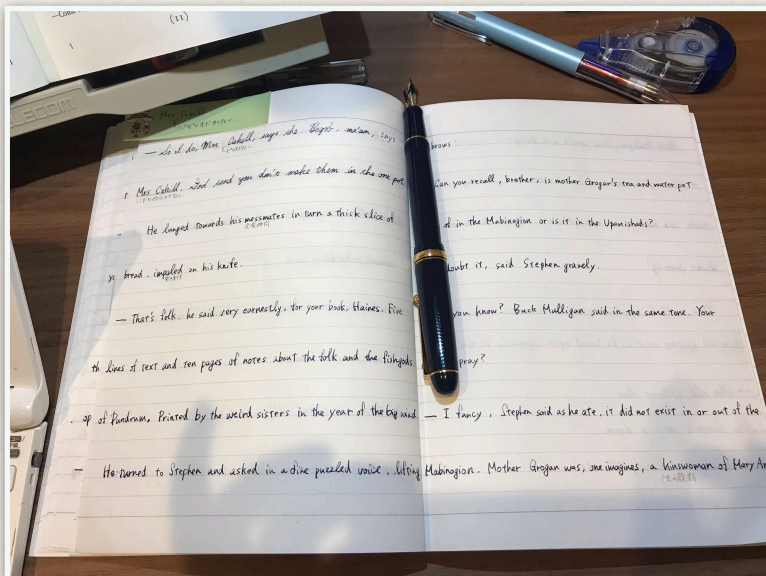
©三月うさぎ(兄)さん@march_hare_bro



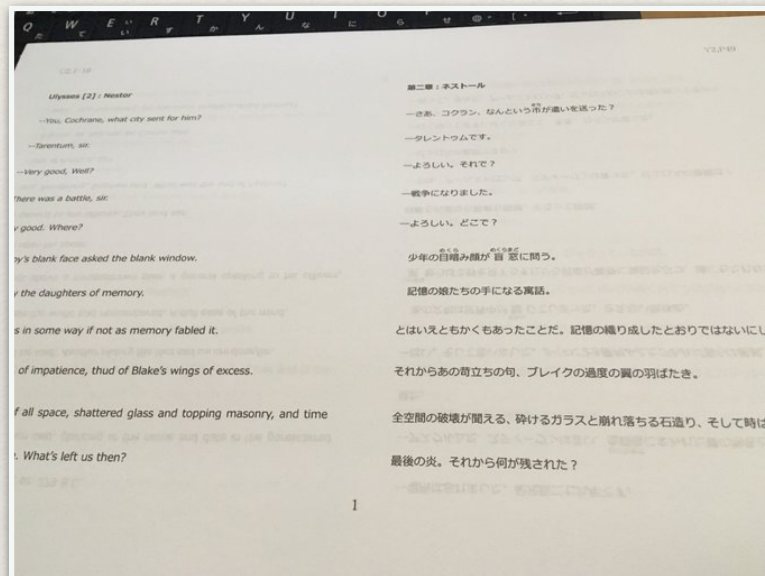
©オクスタ製文さん@oksta7



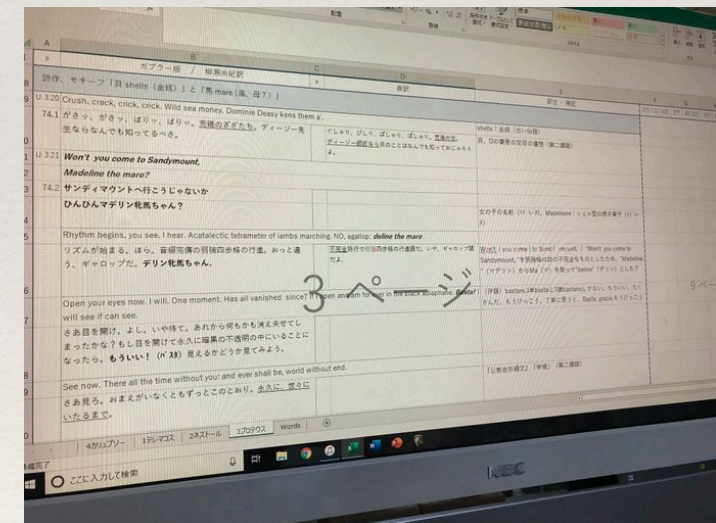
©yoshimo mai@yoshino314



©トマトが主食のかぼちゃさん@sleepmyrtle



©きのさん@keni_keno



月と牧人ひつじを@melacavobene



星新一を敬愛するワタシが

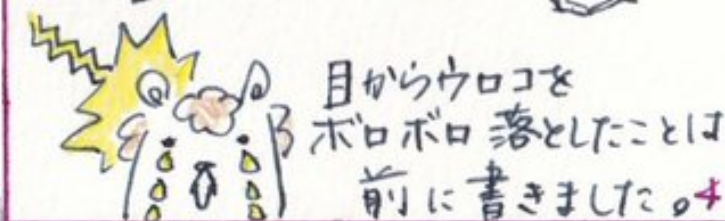


有名な
~~悪名高き~~
『ユリシーズ』を
読もうと
一念発起
して

首をかしげながら
第1〜第3挿話を
めくり



第4挿話についての読書会



実はその時点でまだわたしは
この本の魅力について
懐疑的でした

ジョイスに文句も
反感を抱いて
いました。

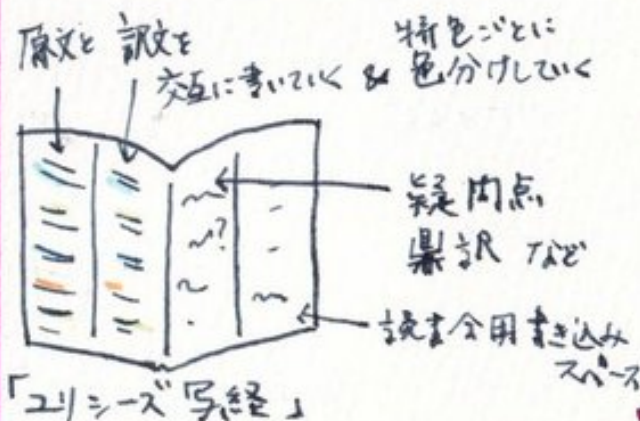
いけすかない!



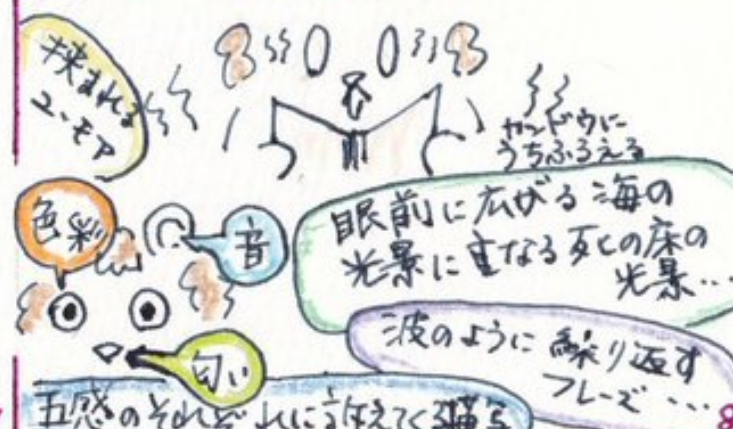
わざわざ
知識をひけらかして
難解な文章を書いて
得意がっているなんて
傲慢だわっ

「あと柳瀬の
クセが強い」
←教養のない者の
セガミとも言う

ところが第1挿話の1文1文を
丁寧に読みしめるように読むと...



ものすごく 美しい小説では
ありませんか!! (翻訳もスゴイ!!)



その第1挿話を扱う読書会で
参加者のみなさまの
知識と洞察に舌を巻き...

自然とこんな気持ちになりました。

ムズカシイとは
みなさんに
教えてもらおう

わたしはただ
この小説の
表層にある
美しさも
3年かけて
楽しめばいい

知識がないので
登場人物の発言の正誤が
判断できない第2挿話と
なんだかよくわからない。
(けれど第1挿話と呼应する
ところがたくさんありそう) 第3挿話は



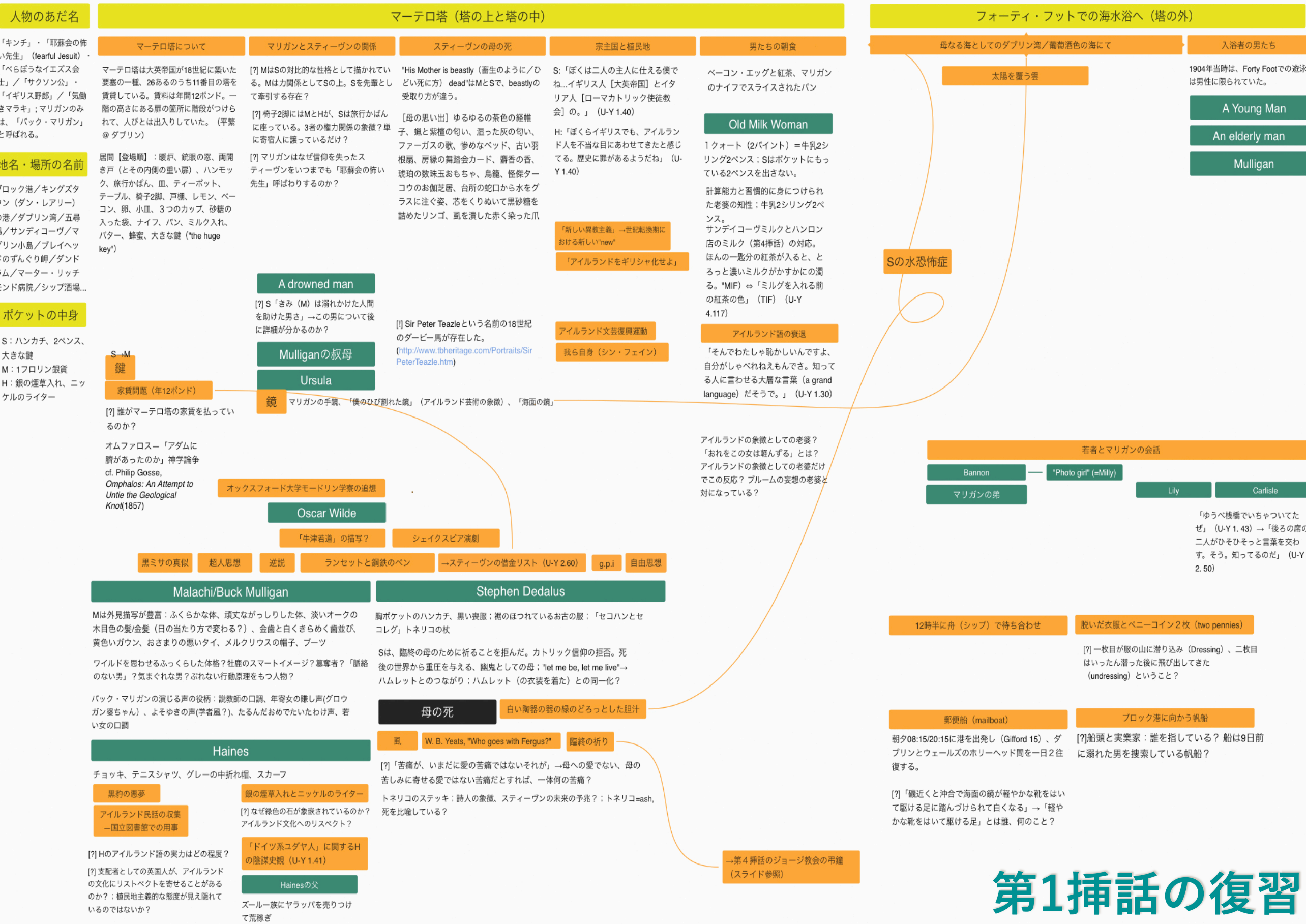
とうとうへ行きたいと思へども
とうとうはあまりに楽し
無理して
膝を壊すより
休みながらの
完本を目指そう ということで
来年までに参加させてください。

この読書会との出会いは
今年の重大ニュースのひとつです。
来年もどうぞ
よろしくお付き合いいたします。

オクスタ製文さん
(@oksta7)

第1挿話

- テーマ
- 登場人物
- 関連事項



第1挿話の復習

第2挿話

テーマ

登場人物

関連事項

歴史／歴史観

年表上の歴史

B. C. 279年 アスクルムの戦い

1801年 連合法；グレートブリテン及びアイルランド連合王国が成立

1829年 カトリック解放令

1845-49年 ジャガイモ飢饉

1858年 アイルランド共和兄弟団（IRB）結成

IRB／フィニアン会（@米）

1866年 （競馬）パリ賞

1870年 基礎教育法（Elementary Education Act）

1882年 フィーニックス・パーク暗殺事件

1905年 A・グリフィスシン・フェイン党の設立

ディージー校長

虚ろなもの

貝

校長の部屋の「虚ろな貝殻」（バイ貝、寶貝、豹貝）巻き貝、カタツムリとその殻；「目暗み顔」と「盲窓」（blank faceとblank window）；「空っぽの湾」（empty bay）；Sの空っぽのポケット。人が出払って空っぽの巻き貝型のマーテロ塔；貝のシンボリズム：金／貝の隠喩的關係（「金は力ですぞ」）；質としてのアイルランドの国土；誤った基礎にもとづいた歴史認識；〔？〕サージェントの算数の取組みに対してSが感じる"futility"と教育の虚しさ。

cf. W. B. イエイツの長編詩「内戦時の瞑想」（"Meditations in Time of Civil War"）には貴族文化の衰退を暗示する空の貝殻の詩句が含まれている；T. S. エリオットの詩「虚ろな人々」（"The Hollow Men," 1925）

いまは亡き競争馬の肖像画
皇太子A.エドワードの肖像画

直線的な歴史観

「この問題に関しては意見が2つとないはずだ」←解釈を許さない歴史観；実証主義的な歴史；強者が作る帝国主義的な歴史観

「まっぐな道によりて（ベル・ウィアス・レクタス）（U-Y2. 61）「すべて人間の歴史は一つの偉大な目標に向かって動くのです、神の顕現に向かって」（U-Y 2. 66）

cf. 「明白なる運命」（manifest destiny）と鉄道線路一直線の形象



Wikimedia

スティーヴン・デダラス

アリストテレス哲学と可能態

ありえたかもしれない世界の可能性；もしピュロスがアルゴスで老婆の手に掛かって斃れなかったら？カエサルが殺されていないから？

〔？〕宗教と結びついた歴史から考察していくと、無神論者を志向するスティーヴンは、神の歴史観のもとにあるディージーを軽蔑している？

〔？〕Sは母の死に対して自責を感じて、自分も加害者であるかもしれない可能性の歴史を考えている？

血糊傷にまみれた（教科）書 —— 血滲みのちらし（U-Y 4. 113）

歴史という悪夢（Night"mare"）

nightmareはスティーヴンにとって「亡霊的なトラウマ」←その悪夢から目を覚ますとは何を意味するのか？；nightmareは循環史観のほうの馬ではないか？

パリの記憶

〔？〕「パリの罪から隔離されて」←『肖像』で愛蘭土を捨てて、パリに出たことか？

宝石ごてごての五本指；パリ株式市場の金無垢肌の男たち

Horse

History

Night"mare"

Mother /Ghoul

Sea as "Our mighty mother!"

H・ブラックウッド・プライス

リリー

ヘインズ

イーディス

エセル

ガーティ

ヘインズ（U-Y 1. 41）の反ユダヤ主義；第4挿話ブルーム登場の予告

ディージー、口蹄疫（foot and mouth disease）の治療をめぐる投書；テレグラフ紙と農業新聞アイリッシュ・ホームステッド紙上での掲載をSに依頼

反ユダヤ主義

ディージー校長のなぞなぞ

〔？〕なぜSはディージー校長のなぞなぞに対してなぜ笑うのか？

←「国のなかに入れない」というアナロジー

牛

「親牡牛派詩人」（U-Y 2.68）←この名付け方には何かモデルがあるのか？

狐

母の記憶

スティーヴンのなぞなぞ

冥界の樹懶の牝

蝸牛

幼少期の記憶

学校の生徒たち

アームストロング

トールボット

シリル・サージェント

カミン

コ克蘭

ハリデイ

〔？〕ディージーとSの歴史観の外部にある「子供たちの歴史観」があるのではないか？

〔！〕聖ヨセフ公立学校(U-Y 4. 107)との対応

〔？〕子供たちは何歳くらいか？←10才くらいではないか？；木曜日が半日休みなのは私立の学校だからだろうか？

ドーキーと富裕層

Sの3ポンド12シリングの給料

運動場上のホッケー；ゴールと笛の音；テニスの『イン・メモリアム』末尾の詩句「一つのゴール」

That God, which ever lives and loves,
One God, one law, one element,
And one far-off divine event,
To which the whole creation moves.

第2挿話の復習



第3挿話 プロテウス

第1部：スティーヴン・デダラスの世界



第1部：スティーヴン・デダラスの世界

海	波	砂	貝	風	浜	潮	浜
馬	犬	女	男	馬	鷗	鳩	神
目	耳	靴	足	口	齒	臍	洩
死	産	詩	韻	巴	触	汚	溺

第1部：スティーヴン・デダラスの世界

第3挿話はスティーヴンの意識のフィルターを通して情景が提供されます。サンディマウントの浜辺を歩くその青年の五感に注目し、彼が実際に目にしたり、耳にしているもの、触れたりしているものに「S」の印をつけてみてください。

ex. 足元の海藻や貝殻、波の音、濡れた砂、リーヒーの高台、船食虫に食い荒らされた船材,...

宇宙飛行士の存在論

宇宙飛行士の存在論

—専門外のことでも心に残っていることは何か。

[エドワード・ギブソン]：（それはやはり宇宙そのものの眺めだ。地球から宇宙を見るのと、宇宙空間から宇宙空間を見るのとは、これは全く違う体験だ。地球にいる人間は、宇宙というものをわかったようなつもりになっているが、実際には観念的にしか理解していない。たとえば、太陽系の構造など誰でも知っているというにちがいない。しかし、そういうとき誰でも頭のなかで思い浮かべているのは、教科書などに出ている、太陽を中心として惑星が同心円の軌道を描いている図解なのだ。……しかし宇宙に出れば目の前に地球という天体があり、太陽という天体がある。目の前に太陽系の図解でなく現実がある。太陽系というだけでなく、宇宙全体が観念としてでなく現実体験として理解できる。

宇宙飛行士の存在論

古代から、宇宙像に関しては、天動説や地球平面説などさまざまな珍妙な理論が信じられていた時代がある。そういった宇宙像を作り上げた人々をみんな連れてきて、『ほら、目を開いてよく見ろ、これがほんとの地球の姿で、ほんとの宇宙の姿だ』とやってやりたい気がした。あとは何も説明がいらぬ。誰でも宇宙空間に出れば、現実に圧倒される。その眺めの素晴らしさは、いくら味わっても味わいつくせないものだ。

同時に、宇宙というのは気味が悪いところでもある。私は三回のEVA（船外活動）をおこなったが、これがそれぞれ……長時間にわたるものだった。スカイラブは90分で地球を一周してしまうから、この間に何度も夜を迎える。……あるとき、何かの手順の違いで、夜間、船外にポカンと一人で浮いていなければならないときがあった。

宇宙飛行士の存在論

宇宙の夜の部分の暗さといったら、ほんとの真暗闇で何も見えない。深い淵の中に落ち込んだように何も見えない。そして、たった一人でそこに浮いている。そのとき何ともいえぬ気味の悪さに襲われた。頭のとてっぺんから爪先までゾッとするような気味の悪さが全身を浸していた。光がなく、何もなく、私以外何も存在していないという世界の気味の悪さ。これで、私が何か活動していればそうでもなかったのだろうが、何もしないでただそこに浮いているときの気味の悪さ。あれ以上の気味の悪さは生涯味わったことがない。しかし、考えてみれば、この地球という世界を失って宇宙空間に放り出されてしまったら、人間にとってこの宇宙というのは、あの気味の悪さしか残らない世界なのだ。（立花隆『宇宙からの帰還』中央文庫, 299-300頁；強調は引用者）

目を瞑る Stephen Dedalus

第3挿話とスティーヴンの知覚

可視態の不可避の様式。少なくともそれ、それ以上でないにしても、おれの目を通しての思考。万物の署名をおれはここで読み取る。海落とし卵、海捨て草、寄せる潮、あの色褪せたブーツ。青っ洩緑（snotgreen）、青銀色、赤錆色、彩色された署名の数々……目を閉じて見るのだ(Shut your eyes and see)。

スティーヴンは目を閉じて、ブーツがかさッ、がさッ、打ち上げられた海藻や貝殻を踏みしだくの聞いた（Stephen closed his eyes to hear his boots crush crackling wrack and shells）。とにかく通り抜けて歩いているじゃないか。このとおり、一度に一步ずつ。きわめて短い間隔の時間にきわめて短い間隔の空間を。5歩、6歩、順次（five, six; the Nacheinander）。まさしくそうだ。これが可聴態の不可避の様式だ。目を開けろ。いや。ひえ！ もしつんのめるがことくげじげじ突き出す絶壁から落っこちたとしたら、不可避免的に並列態（nebeneinander）を抜けて落っこちたら！暗闇のなかでもけっこううまくやれるじゃないか。トネリコの剣は腰にぶらさがっているぞ。これでコツコツやってみろ、盲人みたいに。あいつのブーツをはいたおれの両足があいつの脛の先っぽにある、並列態で。硬い音がする。造物主ロスの木槌の音。こうしてサンディマウントの磯を果てしなく歩いていく？かさッ、がさッ、バリッ、バリッ。荒磯のぎざたち。（Crush, crack, crick, crick. Wild sea money.）ディージェー先生ならなんでも知ってるべさ。

サンディマウントへ行こうじゃないか
ひんひんマデリン^{ひんば}牝馬ちゃん？

（U-Y 3.73; 強調は引用者）

ジョージ・バーリーの非物質論

(*Esse est percipi /To be is to be perceived*)

私が書きものをしている机は存在する、と私は言う。すなわち、私はその机を見るし、これに触れるのである。また、書斎を出たとすれば、机は存在した、と言うであろう。その意味は、もし私が書斎にいたら机を知覚できたであろう、という意味であり、また、或る他の精神が現実^に机を知覚している、という意味である。匂いがあった、すなわち、嗅がれたのである。音があった、すなわち、聴かれたのである。色彩や形状があった、換言すれば、視覚や聴覚によって知覚されたのである。…そうした^{もの}事物の存在するとは知覚されることである。換言すれば、そうした^{もの}事物が心の外で、すなわち、それらを知覚するところの思考する^{もの}事物の外で、かりそめにも存在することは、不可能なのである。『人知原理論』大槻春彦訳；強調は原文)

第3挿話とスティーヴンの知覚

To be () is to be perceived ().

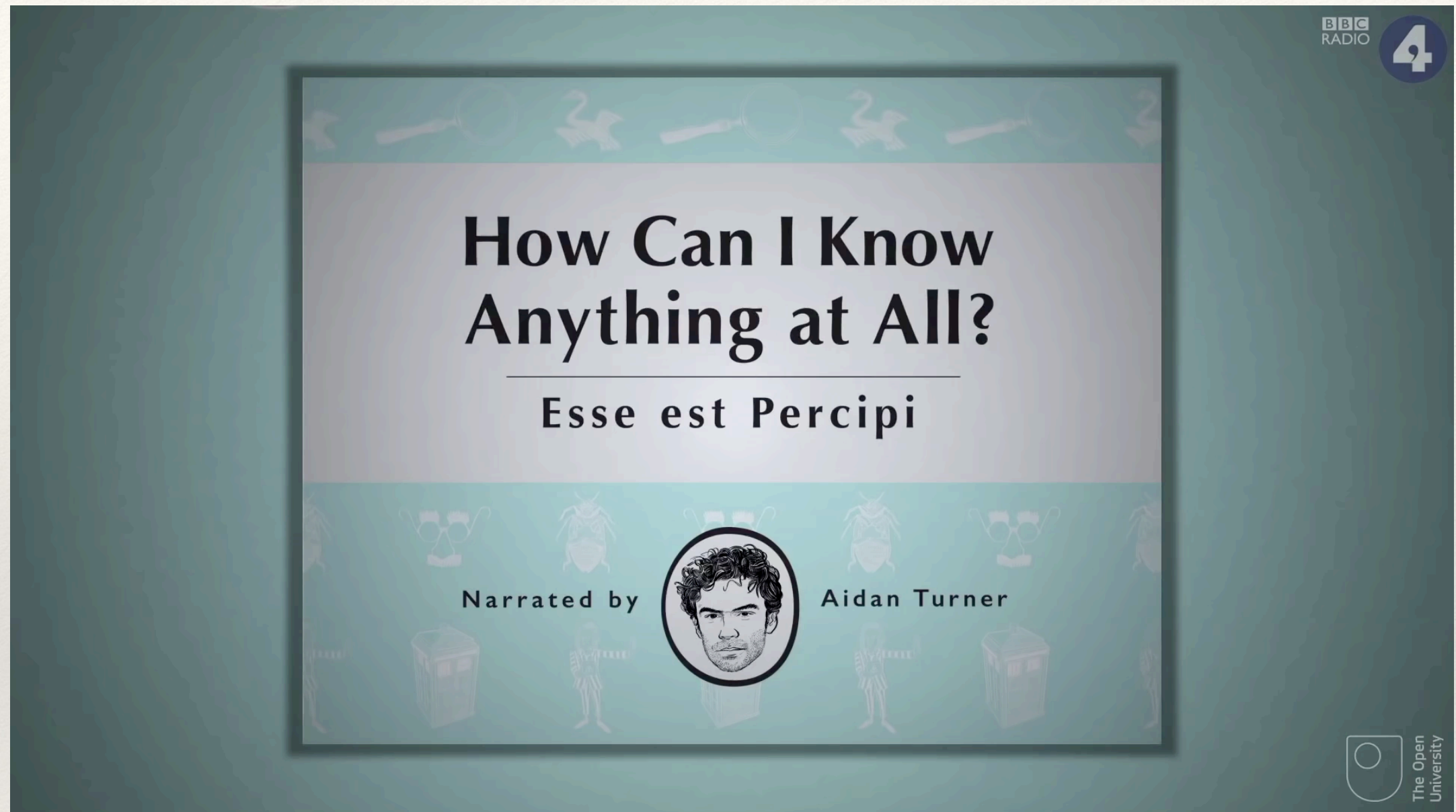
1. スティーヴンの銜学的な知識に囚われない。私たちの頭のなかを流れる思考も同じくらい難解。
2. 第3挿話を支配するのは変幻自在の海神プロテウス。それ故スティーヴンというフィルターを通して語られる記述は、いつも何か別のものに变化してしまう捉えがたい対象。
3. 反バークリー的に、スティーヴンの精神と身体の外に独立して存在している（「—さあ、見ろ。お前がいなくともずっとこのとおり。」;U-Y 3. 74）、物質的な**ダブリンの世界**を意識する。→「生活者」としての読みへ

第3挿話とスティーヴンの知覚

To be (in Proteus) is to be perceived (by Stephen).

1. スティーヴンの銜学的な知識に囚われない。私たちの頭のなかを流れる思考も同じくらい難解。
2. 第3挿話を支配するのは変幻自在の海神プロテウス。それ故スティーヴンというフィルターを通して語られる記述は、いつも何か別のものに变化してしまう捉えがたい対象。
3. 反バークリー的に、スティーヴンの精神と身体の外に独立して存在している（「—さあ、見ろ。お前がいなくともずっとこのとおり。」;U-Y 3. 74）、物質的な**ダブリンの世界**を意識する。

“Esse est Percipi -To be is to be perceived,” BBC Radio 4, [YouTube](#), Aug 6 2015.



<https://www.youtube.com/watch?v=9iBryNYU49Y&list=PL9uHDp8qaXBzWf5KDAuEW3KLjjfOyfaLz&index=4&t=0s>

リッチー叔父さんの原理？（U-Y 3. 75-77）

1. スティーヴン、今夜泊まる場所として、母方の叔父リッチー・グールディングの家を訪れることを考える。

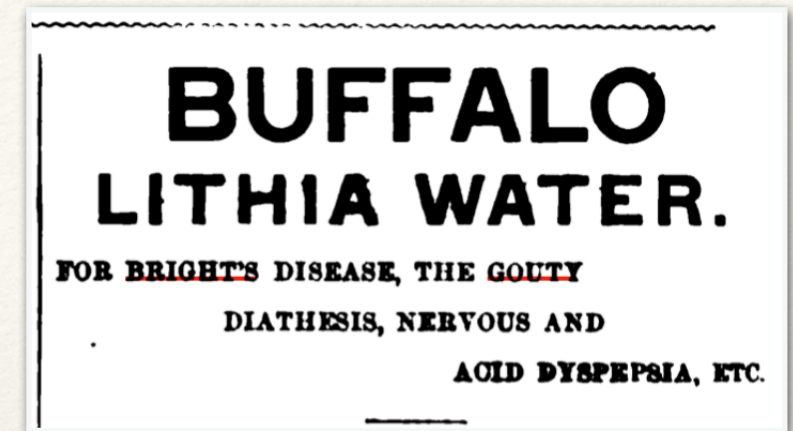


2. U-Y 3.75-77の会話群はスティーヴンによって「想像された発話」で、実際の出来事ではない。

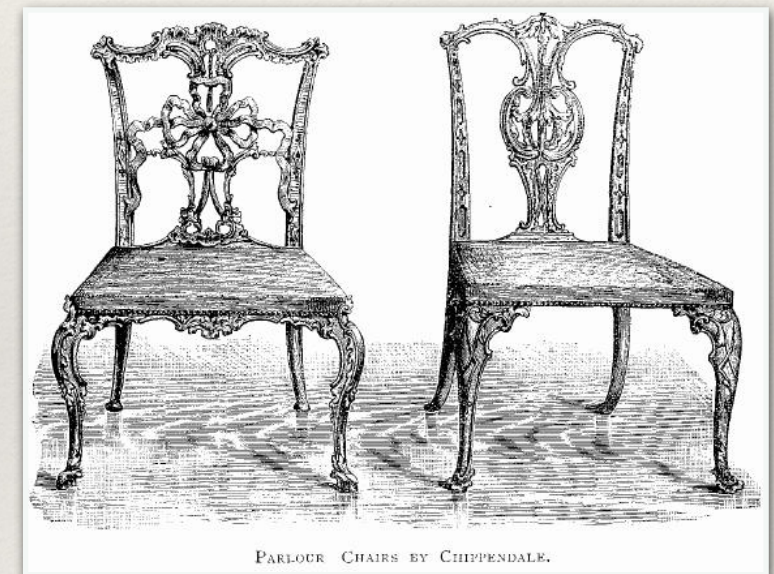


3. スティーヴンによって想像された発話のなかで、リッチー叔父は、そこに存在しないものを呼び込もうとする。

- ・ 家のなかに「外」を呼ぶ（「座って散歩でもするか」）
- ・ 口笛で呼ぶつもりのない子供のウォルターを呼んでしまう。
- ・ 「凋落の家」には存在しないウィスキーを持ってくるよう命令する。
- ・ クリッシーの面倒を見ていて、そこにはいない母親を呼ぶ。
- ・ 「凋落の家」にはない高価な椅子（Chippendale chair）を持ってくるよう命令する。
- ・ そこにはないベーコンと鰯炒めを提供しようとする。
- ・ あるのは痛風やブライト病用のリチア水、腰痛用の薬だけ。



Buffalo Lithia Waterの広告; *Peterson's Magazine*, vol. 87, 1885, p. 560; 強調は引用者



Frederick Litchfield, *Illustrated History of Furniture, From the Earliest to the Present Time* (1893); https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Parlour_Chairs_by_Chippendale.jpg

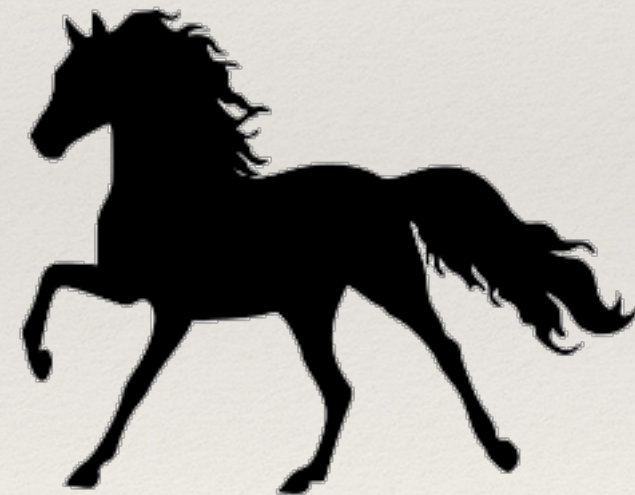
リッチー叔父さんの原理？（U-Y 3. 75-77）

- ❖ 夢を見ているときに、寝ている身体の周囲にある現実が変性を受けて夢に登場するように、一つの時空間における出来事の描写のなかに、「そこにはない」別の時空間が侵入してくる。それゆえ《ある何かは別の何かでありうる》（“We thought you were someone else”）。
- ❖ ある記述に別の時空間から紛れ込むのは、（1）焦点化されている人物の思惟や意識、知識（2）その人物を取り囲み、その人物が知覚している自然（ex. 「この重たい砂土は潮と風がここに蓄積した言語だ」）、そして、（3）その記述の周囲に書かれた（ページ上の）言葉。

→想像されたグールディング家での会話は、読者を一つの仮想的な時空間へと連れ出すが、それを記述する言語のなかには、その想像を行っているステューヴンの現在進行形の思惟や記憶、知識、サンディマウントを歩く彼が知覚した風景や音が紛れ込む。

リッチー叔父さんの原理？（U-Y 3. 75-77）

- ❖ Nacheinander—whitemaned—Mananaan—And and and and
—Houyhnnm
- ❖ Bride Street—brightwindbridled—Bright disease
- ❖ Mrs Florence
Macabe—navelcord—cable—omphalos—omophorion
- ❖ Broad bed—lapboard—bald head
- ❖ Hillock
- ❖ Whistle
- ❖ Walter—Malt—Lithia Water



第4回読書会

受付開始 13:15~13:30

第1部 13:30~15:00

休憩 15:00-15:15

第2部 15:15~16:55

懇親会 17:10~19:10

* 店内は電子タバコを含め全面禁煙です。

* 会場内での写真撮影についてのお願い



第2部：

海	波	砂	貝	風	浜	潮	浜
馬	犬	女	男	馬	鷗	鳩	神
目	耳	靴	足	口	齒	臍	洩
死	産	詩	韻	巴	触	汚	溺

“Weavers of Speech”

惜しくも故人となられしブライド通り
パトリック・マッケイブ未亡人。
あの婆さん仲間の誰かがぎゃあぎゃあ
ひきずる死産の赤子、赤地の羅紗
(ruddy wool) にくるんで黙らせて
て。すべてのものの緒は遡って繋がる。
撚り絡み合う万人のケーブル。
だから秘教の修道士たちは。臍を見
つめるんだな。もしもし！ (Hello)
こちらキンチ。エデン市へ繋いでよ。
アレフ、アルファ、〇〇ー。(U-Y
3.74)



Weavers of Speech

Upon the magic looms of the Bell System, tens of millions of telephone messages are daily woven into a marvelous fabric, representing the countless activities of a busy people.

Day and night, invisible hands shift the shuttles to and fro, weaving the thoughts of men and women into a pattern which, if it could be seen as a tapestry, would tell a dramatic story of our business and social life.

In its warp and woof would mingle success and failure, triumph and tragedy, joy and sorrow, sentiment and shop-talk, heart emotions and million-dollar deals.

The weavers are the 70,000 Bell operators. Out of sight of the subscribers,

these weavers of speech sit silently at the switchboards, swiftly and skillfully interlacing the cords which guide the human voice over the country in all directions.

Whether a man wants his neighbor in town, or some one in a far-away state; whether the calls come one or ten a minute, the work of the operators is ever the same—making direct, instant communication everywhere possible.

This is Bell Service. Not only is it necessary to provide the facilities for the weaving of speech, but these facilities must be vitalized with the skill and intelligence which, in the Bell System, have made Universal Service the privilege of the millions.



AMERICAN TELEPHONE AND TELEGRAPH COMPANY
AND ASSOCIATED COMPANIES

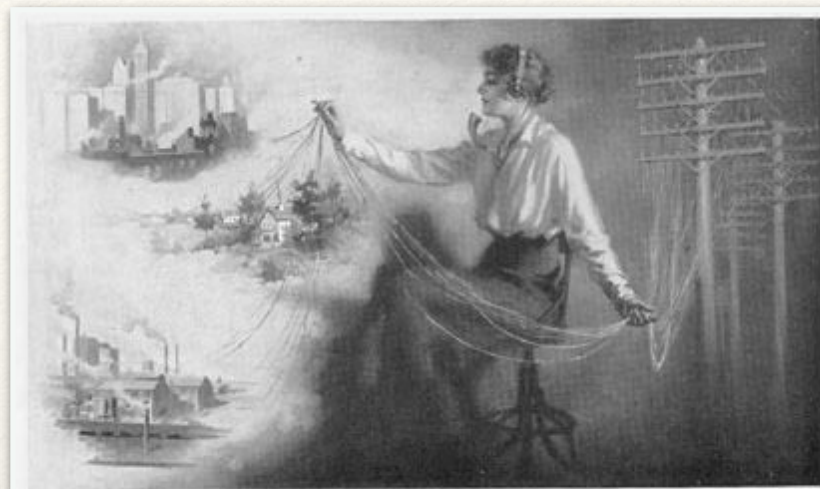
One Policy

One System

Universal Service

One of the first announcements from AT & T "Weaver of Speech" campaign launched on 1915; "Weavers of Speech Almost a Christmas story." <https://historiatelefonica.com/2015/12/22/weavers-of-speech-casi-un-cuento-de-navidad/>

“Weavers of Speech”



Weavers of Speech

Upon the magic looms of the Bell System, tens of millions of telephone messages are daily woven into a marvelous fabric, representing the countless activities of a busy people.

Day and night, invisible hands shift the shuttles to and fro, weaving the thoughts of men and women into a pattern which, if it could be seen as a tapestry, would tell a dramatic story of our business and social life.

In its warp and woof would mingle success and failure, triumph and tragedy, joy and sorrow, sentiment and shop-talk, heart emotions and million-dollar deals.

The weavers are the 70,000 Bell operators. Out of sight of the subscribers,

these weavers of speech sit silently at the switchboards, swiftly and skillfully interlacing the cords which guide the human voice over the country in all directions.

Whether a man wants his neighbor in town, or some one in a far-away state; whether the calls come one or ten a minute, the work of the operators is ever the same—making direct, instant communication everywhere possible.

This is Bell Service. Not only is it necessary to provide the facilities for the weaving of speech, but these facilities must be vitalized with the skill and intelligence which, in the Bell System, have made Universal Service the privilege of the millions.



AMERICAN TELEPHONE AND TELEGRAPH COMPANY
AND ASSOCIATED COMPANIES

One Policy

One System

Universal Service



One of the first announcements from AT & T "Weaver of Speech" campaign launched on 1915; "Weavers of Speech- Almost a Christmas story." <https://historiatelefonica.com/2015/12/22/weavers-of-speech-casi-un-cuento-de-navidad/>

John Gast, *American Progress* (1872) "Columbia, the female figure of America, leads Americans into the West and into the future by carrying the values of republicanism (as seen through her Roman garb) and progress (shown through the inclusion of technological innovations like the telegraph) and clearing native peoples and animals, seen being pushed into the darkness." (<https://www.americanyawp.com/reader/manifest-destiny-2/>)

cf. April Middeljans, "Weavers of Speech": Telephone Operators as Defiant Domestics in American Literature and Culture," *Journal of Modern Literature* (2010), vol. 33, no. 3, pp. 38-63.

“Wavespeech”

コック潟から潮はいくつもの細長い投げ輪縄となってたっぷりと流れこみ、砂浜の干潟を金緑色で多い、沸きあがり、満ち溢れた。トネリコのすてっきが流されてしまうぞ。まとう。いや、潮は通り過ぎて行くさ、低い岩間にぶつかっては通り過ぎ、渦を巻いては通り過ぎ。手元の仕事をさっさとすませろ。聞けよ。波のお話は4つの言葉でできているぜ（a fourworded wavespeech）。シィイスウ、フルッス、ルッシィイィッス、ウウウス。海蛇の群や、後足でたちあがる馬どや岩々などのあいだで、水が激しい吐息をつく。岩のくぼみのなかで見ずがぴしゃりと跳ねる。ぱしゃり、ぽやり、ぴちゃり。樽のなかでゆすられて。それから疲れて話しやむ。水は渦を巻いて流れ、ひろがって流れ、一面に泡を浮かべ、花を開かせる。

次回の第5回読書会は2月9日（日）に、
東京・神保町Book House Cafeにて開催します。
予約開始日はtwitter（@YMINAMITANI）および
Stephens Workshopのホームページでお知らせします。
（次回は「サプライズ」企画あり！）

よろしければアンケートをご記入いただき、受付にご提出
ください。懇親会に参加されない方はオレンジのネームプ
レートを受付にご返却ください。

本日はご来場いただき、誠にありがとうございました。
皆様、どうぞよいお年をお迎えください。